「怒声、罵声は何も生まない」 野球を再び“好き”に…大阪桐蔭OBが涙した万感卒団式

公開日：2024.12.31 | 中学硬式野球 | 桐生南ボニー | 文：宮脇広久 / Hirohisa Miyawaki

桐生南ボニーの謝敷正吾監督【写真：宮脇広久】

中学硬式野球「桐生南ボニー」の謝敷正吾監督が初めて中学3年7人を送り出す

大阪桐蔭高時代に甲子園で中田翔のライバルホームランを放ち、明大、BCリーグ・石川でも活躍した謝敷正吾氏が、指導者として初めて“卒業生”を送り出した。謝敷氏が監督を務める群馬県の中学硬式野球チーム「桐生南ボニー」の卒団イベントが、12月22日に行われた。

「今年卒団する中学3年生7人は、1度は野球を嫌いになった中で、桐生南ボニーという新しいチームに入ってきてくれた。卒団にあたって『野球が好きで好きでしかたがない』という声もありました。野球をもう1度好きになってくれたとすれば、僕としては責任を果たせたのかなと思います」と謝敷氏は与なぐ。

現役時代は右投げ左打ちのスラッガーとして鳴らし、大阪桐蔭高3年の夏には、甲子園大会1回戦の神奈川・横浜高戦に「3番・二塁」で出場し、8回にセンターへ3ランを放った。続く中田も同じくセンターへ2者連続本塁打となるソロで続いたシーンは、高校野球ファンの脳裏に刻まれた。

卒業後に明大、BCリーグ・石川でもプレーしたが、目標だったNPB入りはかなわず。24歳で区切りをつけて、オープンハウスグループに就職し、営業職、社長付運転手を務めてきた。オープンハウスが高校となった群馬県立桐生南高校の跡地を取得したことがきっかけとなり、そのグラウンドを本拠地に昨年4月、荒木重雄氏（元ロッテ執行役員事業本部長）を球団代表として「桐生南ボニー」を設立。謝敷氏がオープンハウス桐生の施設長に異動するかたわら、監督に就任したのだった。

現在、桐生南ボニーの内訳は3年生7人、2年生17人、1年生30人の総勢54人。今年はチーム創設2年目にして、ボニーリーグの北日本選手権大会関東連盟予選でベスト16入りし、7月の全日本選手権大会出場を果たしている（1回戦敗退）。

卒団イベントでは「2、3年生の保護者対2、3年生」のソフトボールマッチと、「指導者対2、3年生」の2試合が行われ、謝敷氏も第2試合で指導者チームの「3番・三塁」で出場。通算打と矯真を放って見せたが、9-6とリードした最終回（3回）にマウンドへ上がり、エラー絡みで4点を奪われ逆転ヨコナラ負けを喫した。「子どもたちの成長を感じました」と苦笑した。

「日本一愉しく取り組み、大会でも日本一になりたい」

卒団式では3年生7人を送り出した【写真：謝敷氏提供】

卒団する3年生7人はいずれも、所属していた別のチームをやめて入団してきた選手たちだという。前所属チームをやめた理由はそれぞれ違うが、「怒声、罵声を浴び、過度のプレッシャーにさらされてきた子が多いです」と謝敷氏は説明する。

「怒声、罵声が何かを生み出す可能性は、ないと思っています。それは指導者の一過性の自己満足でしかない。僕も叱ることはありますが、感情的な言葉とは全然違うと思います」という姿勢はそのまま、チーム方針に結びついている。

「怒声、罵声の代わりに、『なぜ、そういう取り組みになったのか』を一緒に検証しています。たとえて言えば、勉強しない子に『勉強しなさい』と言ってもダメで、どうやったら勉強に取り組んでもらえるのか、というようなことを考えながら、子どもたちがしっかり理解できるようにやってきたつもりです」

その3年生7人は2025年、将来医師になることを目指して勉強に重きを置く1人以外、高校でも野球を続ける予定だという。有名強豪校に進む者もいて、いったん閉じかけた野球人生の扉が再び開いた。卒団イベントで謝敷氏は「3年生のキャプテンがあいさつで『荒木（球団代表）さん、このチームをつくってくださって、ありがとうございました』と言った瞬間、僕は思わず号泣してしまいました」と明かした。

桐生南ボニーに残る現在の2年生には、中学生にして183センチ、107キロの体格を誇る長距離砲をはじめ、有望選手がたくさんいる。謝敷氏は「2025年は、最初の3年計画の最終年にあたります。僕たちは何においても、日本一を目指す野球団でありたい。日本一愉（たの）しく取り組み、大会でも日本一になりたいです」とボルテージを上げる。そして「プロを目指して、志高くやってほしいです」と、自身がかなえられなかった“夢の続き”を見てほしいと願う。

大阪桐蔭OBコーチも参加…無料登録で指導・育成動画250本以上が見放題

大阪桐蔭OBの生島峰至氏、廣畑実氏、水本弦氏らも参加する野球育成技術向上プログラム「TURNING POINT」（ターニングポイント）では、無料登録だけでも250本以上の指導・育成動画が見放題。First-Pitchと連動し、元プロ野球選手やトップ選手を育成した指導者、少年野球の現場を熟知する指導者が、最先端の理論などをもとにした確実に上達する独自の練習法・考え方を紹介しています。

■専門家50人以上が参戦「TURNING POINT」とは？

無料登録だけで250本超が楽しめる！ 少年野球の指導動画 「TURNING POINT」

野球上達の「最短ルート」 元プロ・全国の監督も愛読、YouTubeにない本物の指導！ メールだけで簡単登録！ Google・LINEアカウントでも可能 30秒で登録完了！ いまする動画を無料体験 メールだけで簡単登録！ ...続きを読む

First Pitch

■TURNING POINTへの無料登録はこちら

https://id.creative2.co.jp/entry

少年野球に関する悩み・課題を検索

トレンドワード

球速アップ | キャッチボール | 縦振り | レベルスイング | マクドナルド・トーナメント | NPBジュニアトーナメント | 流通元美 | 生島峰至

PREV 次の記事

全国Vへ勝密な“2か年計画” 本気の中学女子チームが始動…選手に伝える「最先端野球」

指導法を知りたい 2025.5.24

NEXT 前の記事

“鳴り物入り”のはずが…高校野球で伸び悩む理由 軟式→硬式「移行期」で見直す土台作り

指導法を知りたい 2025.6.12

野球用品ランキングをチェック!
Full-Count
野球ギフト

野球用品ランキングをチェック!
Amazon
野球ギフト

人気の記事 | 最新記事

ゴロ捕球の苦手は、左、真ん中？ 大阪桐蔭OBが伝授…正確な送球に繋がる“体勢”
大阪桐蔭OBでベースボールアドバイザーの北条典昭氏が「守備の基礎」を伝授 ゴロ捕球ひとつとっても、野球一

球速アップに必要な「成果の発現」 米国流コーチ無限一筋呼ん…で得る“理想の並進運動”
球速アップには要与「並進運動」 軸足の使い方を科学的に分析し、球速アップに必要なスキルのひとつ「並一

故学年に多い「肘が下がる」改ぜ方…簡単な修正法は？ 巨人アカデミー直伝“理想のトップ”
ジャイアンツアカデミーで投手等指導者で実践してきたエキスパートとは？ 無理を強めずの自然な中学投手等一

「レベルスイング」はなぜ大切？ 元巨人助手が打撃指導…打てない小学生“の共通点
ボールにバットが当たりやすいスイングは？ 元アマチュア一の指導者打撃指導 よりもっと、下からすくい

手反げ無即一“球速は半分”も即で生即定 ボールリウで習得…下半身に力を溜める即関節ドリル
「NHK Baseball School」でスポーツアドバイザー長井哲司氏が重要すぎる即関節の体重移動 投手なら誰もが思一

First Pitchのコンテンツを、著作権者の承認なしに 改編、複製、転載、変更、頒布、再配布することを禁じます。